

平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成28年 4月19日 (火)

2 調査対象 第6学年児童16名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査 (国語A、国語B 算数A、算数B)

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用 (知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A (主として知識に関する問題) は、おおむね全国平均と同程度でした。また、国語B (主として活用に関する問題) は、全国平均を下回りました。

算数A (主として知識に関する問題)、算数B (主として活用に関する問題) はともに、全国平均を下回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 朝食を毎日食べていますか。
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。
- 国語・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
- 読書は好きですか。

課題が見られた項目

- 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。
- 新聞を読んでいますか。
- 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では活用力に関する問題に課題が見られました。本校では今後、以下の点について重点的に取り組んでいきます。

- ・子どもが学ぶ意味や必要感を感じることができる授業の実施
- ・自分の考えを基に、友だちと話し合う中で、さらに学びを深めることができる授業や場の設定
- ・授業の流れを見直し、1単位時間の中で習得した知識・理解を活用するような発展的な問題に取り組むような授業形態の実践

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

- ・規則正しい生活習慣を身に付け、家庭学習時間の確保及び家庭学習の習慣化を図る。

○読書について

- ・学校図書や市立図書館を活用し、生き方や生きていく上で参考になるような良書にふれ合う機会を増やしたり、毎日、新聞等を読んだりする中で、「読む」ことに慣れ親しませる。

○地域行事等への参加

- ・地域行事に積極的に参加し、体験や経験を通して地域の方々から学ぶ機会を増やす。